

トヨタ ハイブリッド車 レスキュー時の取り扱い

「プリウス」



はじめに

本書は、プリウス搭乗者をレスキューする際の注意事項を記載しています。

安全に作業をしていただくために、本書をよくお読みいただき、注意事項を遵守してください。

トヨタ自動車株式会社

1. 安全の基本	1
2. レスキュー時の取り扱いポイント	2
1. 車両の固定	2
2. 補機類の事前処理	2
3. ハイブリッドシステムの停止	3
4. 乗員の救出	6
■ 車両の安定	6
■ 乗員へのアクセス	6
⇒ ガラスの取りはずし	6
⇒ ドア取りはずし	6
⇒ 車両切断時の注意事項	7
5. 火災への対応	11
6. 水没時の対応	11
7. 液漏れへの対応	12
3. 事故車の運搬要領	13

1. 安全の基本

プリウスは、200V 以上の高電圧システムを使用しています。
したがって、安全に作業するための基本は、高電圧の「隔離」と「遮断」が必要です。

■ 高電圧の隔離

- ・ 高電圧回路は、車体と絶縁しています。
- ・ 高電圧機器・配線には、ケース・カバーなどを設定しています。また高電圧ケーブルは、被覆をオレンジ色で統一しています。
- ・ 高電圧機器のケースと機器内高電圧導電部は絶縁しています。

■ 高電圧の遮断

車両の整備や事故などで高電圧系の絶縁が確保できない状況では、駆動用電池（HV*バッテリー）からの電流を遮断するシステムを備えています。

* HV：ハイブリッド ビークル（Hybrid Vehicle）の略

<遮断モード>

システム \ 状況	手動	自動	
	サービスプラグ	イグニッションスイッチ連動	衝突検出
通常使用		○	
点検・整備時	○	○	
衝突時			○

■ レスキュー時の注意

取り扱いを誤ると、感電など重大な傷害を受ける恐れがありますので、十分注意してください。

① 当該車両では、200V 以上の高電圧システムを使用しています。



警告

- 重度の火傷または感電による大けがや死亡といった事態を防ぐために、オレンジ色の高電圧ケーブルや高電圧部品に触れないでください。
- やむを得ず触れる場合または触れる恐れのあるときは、絶縁手袋を着用してください。

② 駆動用電池（HV バッテリー）の電解液に強アルカリ性（pH13.5）の水酸化カリウム水溶液を用いています。



警告

- 電解液は無色透明・無臭で粘度は水と同程度、蒸発すると刺激臭があります。やむを得ず触れる場合はゴム手袋、保護メガネを着用して作業をおこなってください。

なお、電解液は不織布に染み込ませてあるため、万一駆動用電池（HV バッテリー）が破損しても多量に流出する恐れはありません。

〔注記〕 事故処理後の車両保管等で関係者が車両から離れるようなケースでは、周囲の人に注意を喚起するため、「高電圧作業中・触るな」の標示をおこなってください。

（本書 P.14 をコピーして活用してください。）

2. レスキュー時の取り扱いポイント



警告

- 重度の火傷または感電による大けがや死亡といった事態を防ぐために、オレンジ色の高電圧ケーブルや高電圧部品に触れないでください。
- やむを得ず触れる場合または触れる恐れのあるときは、絶縁手袋を着用してください。

1. 車両の固定

輪止めをしてパーキングブレーキをかけてください。
シフトレバーをPポジションにしてください。

2. 補機類の事前処理

必要に応じて、ドアガラスおよびドアロックなどの操作を行ってください。

【注意】：補機バッテリーを切り離すと、上記操作が出来なくなります。

3. ハイブリッドシステムの停止

以下の3通りの手段のいずれかを行い、ハイブリッドシステムを停止（IG OFF）して駆動用電池（HV バッテリー）、SRS エアバッグ、ガソリン燃料ポンプの作動を停止させてください。



警告

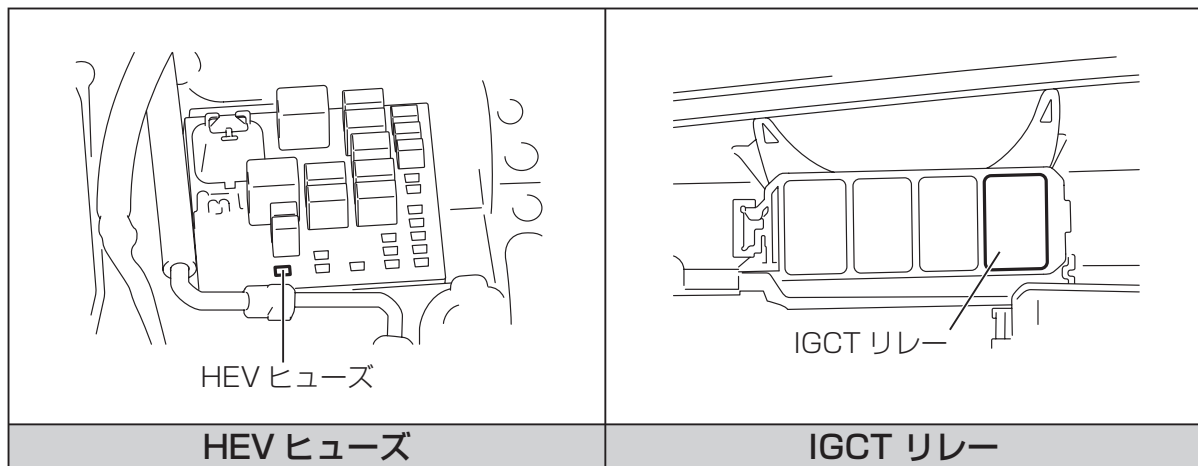
- エンジンが停止していても、ハイブリッドシステムが停止状態であると判断しないでください。
- 必ずメーター内の READY 表示灯を確認して、ハイブリッドシステムが起動状態であるか停止状態であるかを判断してください。READY 表示灯が消灯している状態がシステムの停止状態です。
- レスキューを実施する前にハイブリッドシステムが停止状態（IG OFF）になっていないと、SRS エアバッグの突然の展開や高電圧システムによる重度の火傷および感電により、重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至る可能性があります。

手段 1

1. メーター内の READY 表示灯を確認する。
2. READY 表示灯が点灯している場合は、ハイブリッドシステムは起動状態である。IG スイッチを OFF の位置へ回し、IG スイッチからキーを抜く。
3. トランク内の補機バッテリーのマイナス端子を切り離して、ハイブリッドシステムの再起動および電気火災を防止する。

手段 2 (IG スイッチが操作できない場合)

1. ボンネットを開く。
2. エンジンルームヒューズボックスカバーまたはリレーブロックカバーを取りはずす。
3. エンジンルームヒューズボックスの **HEV** ヒューズまたはリレーブロックの **IGCT** リレーを取りはずす (図参照)。該当のヒューズが確認できない場合は、ヒューズボックスのヒューズまたはリレーブロックのリレーをすべて取りはずす。
4. トランク内の補機バッテリーのマイナス端子を切り離す。



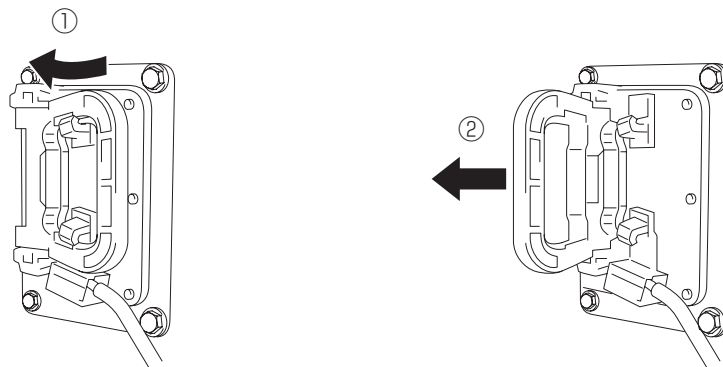
手段 3 (絶縁手袋を使用できる場合)

1. トランクを開き、トランク内のカバーを取り除く。
2. 絶縁手袋を着用し、サービスプラグを取りはずす。
 - ① サービスプラグのレバーを手前に起こす。
 - ② サービスプラグを引き抜く。
 - ③ トランク内の補機バッテリーのマイナス端子を切り離す。

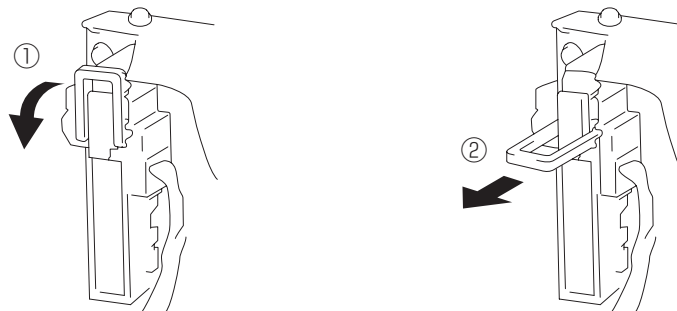


■ 重度の火傷や感電による重大な傷害や死亡といった事態を防ぐため、絶縁手袋を装着せずにサービスプラグを引き抜かないでください。

マイナー前 (NHW10)



マイナー後 (NHW11)



サービスプラグ取りはずし

4. 乗員の救出

■ 車両の安定

フロントピラーおよびリヤピラーの真下4箇所にも木片等の支持物を置き、その後タイヤの空気を抜いて車両を安定させる。または救出用リフトエアバッグ装置を使用する。

【注意】：高電圧ケーブル、排気システム、燃料システムの下に木片および救出用リフトエアバッグ装置を置かないでください。

■ 乗員へのアクセス

⇒ガラスの取りはずし

必要に応じて、通常のガラス取りはずし手順を行ってください。

⇒ドア取りはずし

ドアは、電気式・油圧式といった従来の救助ツールや手によって取りはずすことができます。状況によっては、ドアをこじってヒンジをはずすと作業が容易になります。

⇒車両切断時の注意事項



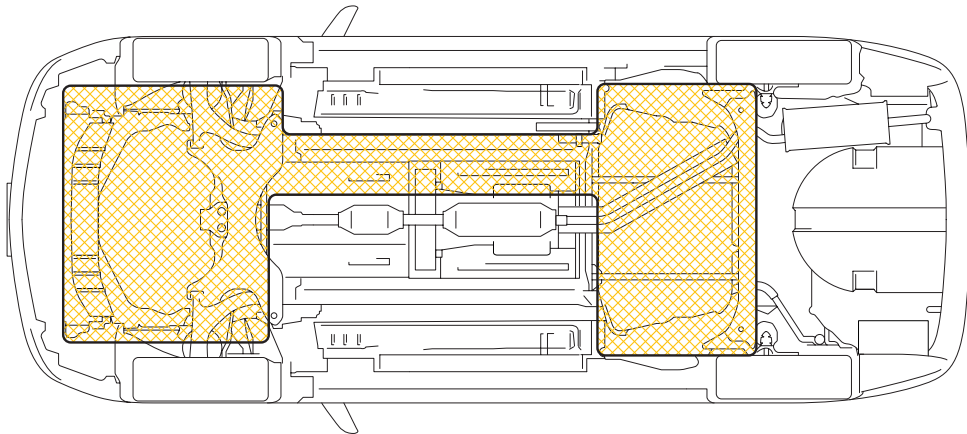
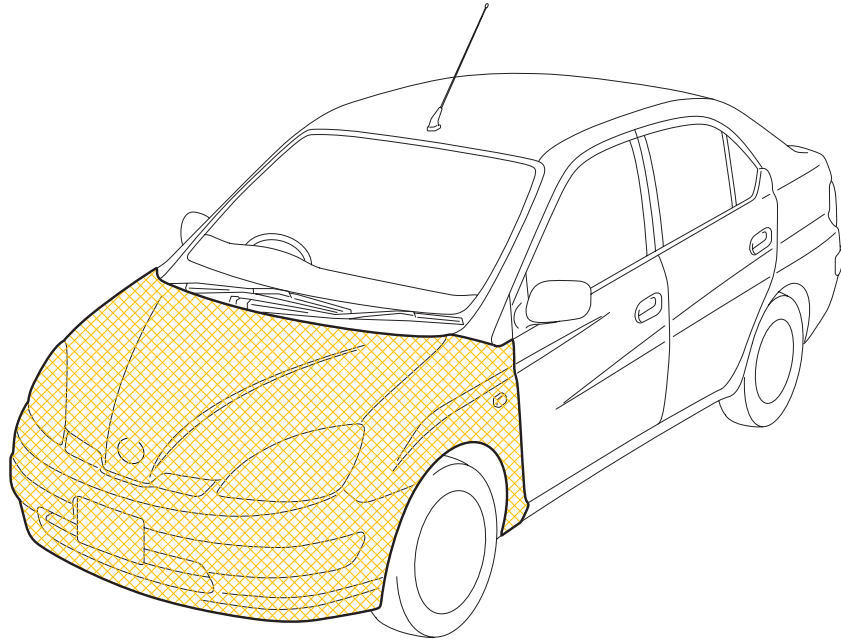
警告

- 重度の火傷または感電による大けがや死亡といった事態を防ぐために、オレンジ色の高電圧ケーブルや高電圧部品に触れないでください。
- やむを得ず触れる場合または触れる恐れのあるときは、絶縁手袋を着用してください。
- 火花による引火等により救援者・乗員に重大な傷害をおよぼす恐れがあるため、油圧カッターなど火花が飛ばない機器を使用して車両を切断してください。
- SRSエアバッグシステムは、IG OFF または補機バッテリーマイナス端子切り離した後、90 秒間システムが作動していますので、経過時間を確認してから作業を行ってください。



高電圧による感電の恐れがある箇所。

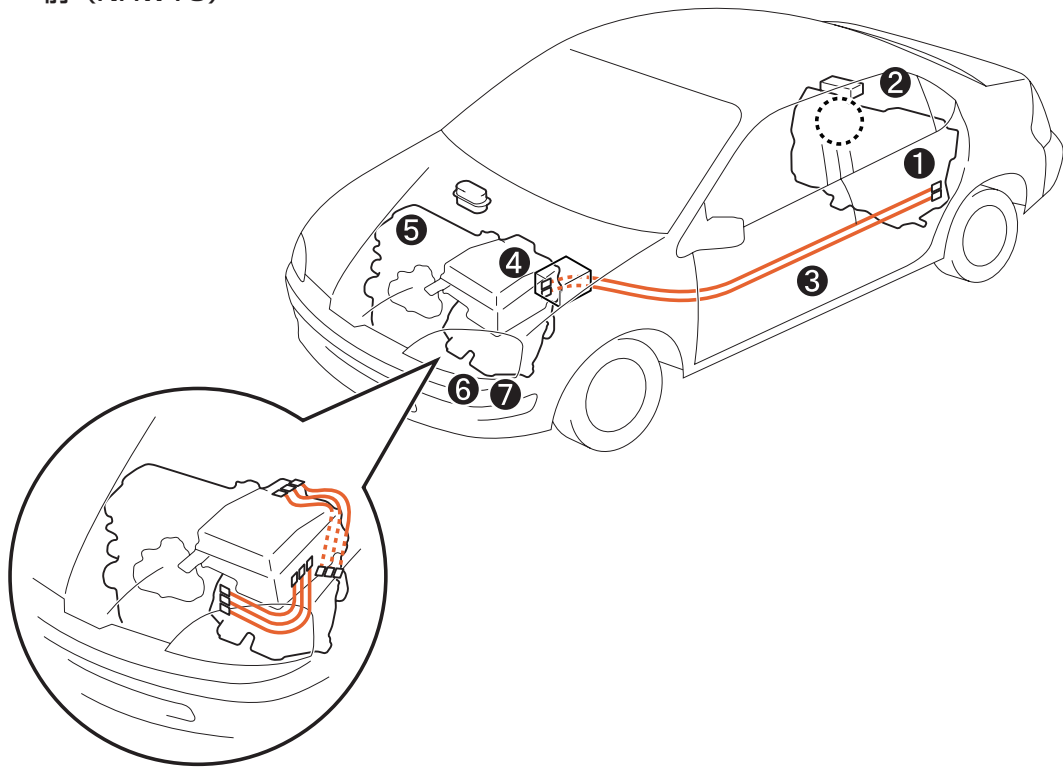
高電圧による感電の恐れがある為、切断不可。



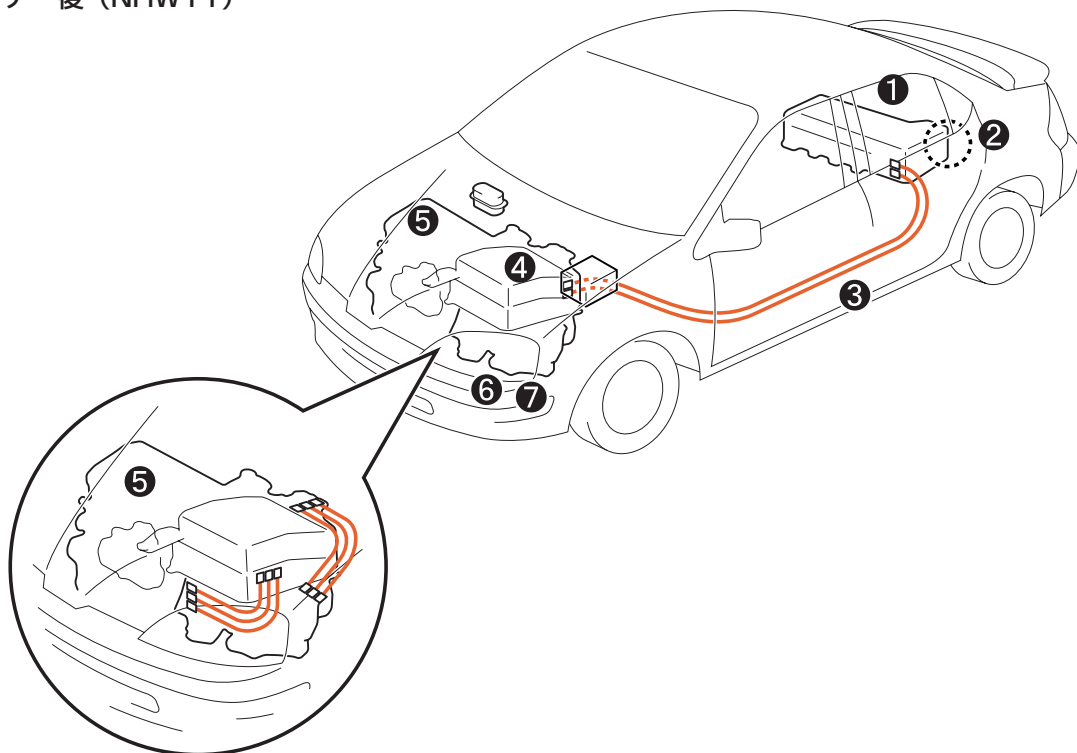
高電圧系部品と配線の位置

構成部品	配置	説明
駆動用電池 (HV バッテリー) ①	トランク内 リヤシート後部	モジュールが直列に接続された、約 288V (マイナー前) / 約 273.6V (マイナー後) の密閉型ニッケル水素バッテリー。
サービスプラグ ②	トランク内 リヤシート後部	高電圧回路の遮断を行う。
高電圧ケーブル ③	車両下部および エンジンルーム	オレンジ色のケーブルで、駆動用電池 (HV バッテリー)、パワーコントロールユニット (インバーター/コンバーター) 間に高電圧直流を供給している。また、パワーコントロールユニット (インバーター/コンバーター)、モーターおよびジェネレーター間に 3 相交流を供給している。
パワーコントロール ユニット (インバーター/ コンバーター) ④	エンジンルーム	駆動用電池 (HV バッテリー) からの約 288V (マイナー前) / 約 273.6V (マイナー後) 高電圧電力を 3 相交流電力に変換、その電気によってモーターを作動させる。また、ジェネレーターおよびモーター (回生ブレーキ) からの交流電力を直流に変換し、駆動用電池 (HV バッテリー) を充電する。
ガソリンエンジン ⑤	エンジンルーム	1.5L ガソリンエンジンで 2 つの機能を持つ。 1) 車両を駆動する。 2) ジェネレーターを作動させ、駆動用電池 (HV バッテリー) を充電すると共に、高負荷時にはモーターに電力を供給して駆動する。 エンジンはハイブリッドコントロールコンピューターの制御によって始動、停止する。
モーター ⑥	車両下部	3 相高電圧交流永久磁石モーターで、トランスアクスル内に搭載されており、前輪を駆動する。
ジェネレーター ⑦	車両下部	3 相高電圧交流発電機で、トランスアクスル内に搭載されており、駆動用電池 (HV バッテリー) を充電すると共に、高負荷時にはモーターに電力を供給して駆動する。

マイナー前 (NHW10)



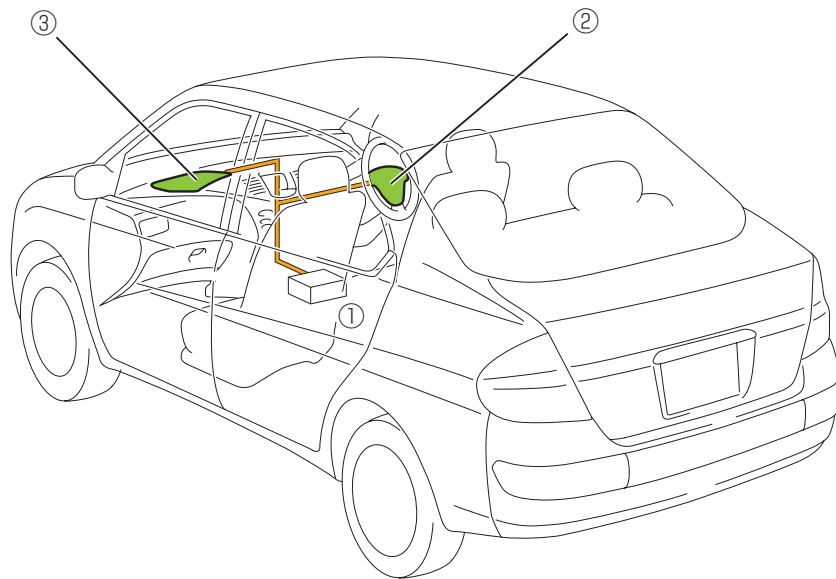
マイナー後 (NHW11)



ハイブリッドシステム構成部品

SRS エアバッグシステム部品と配線の位置

構成部品	配置
SRS コンピューター① (衝撃センサーを内蔵)	シフトレバー後方のセンターコンソール下部
運転席 SRS フロントエアバッグ②	ステアリングホイール
助手席 SRS フロントエアバッグ③	インストルメントパネル



5. 火災への対応

■ 消火剤

消火器（油火災：ガソリン、石油、油などによる火災、および電気火災：電気配線、電気機器などによる火災に有効な消火器）で消火してください。

■ 初期消火活動

少量の水による消火はかえって危険な場合があるため、水を掛ける場合は消火栓などから大量に放水するか、消防隊の到着を待ってください。

6. 水没時の対応

ハイブリッド車両が水没した場合、車体には高電圧がかかっている可能性はなく、感電の心配はありません。

■ 乗員へのアクセス

前述の手順（P2～）に従い、車両を固定しハイブリッドシステムを停止（IG OFF）させてから救援作業をおこなってください。

7. 液漏れへの対応

この車両に使用されている自動車用フルードは、駆動用電池（HV バッテリー）で使用されているニッケル水素バッテリーモジュール電解液を除いて、ハイブリッド以外の車両で使用されている一般的な自動車用フルードと同様です。通常の車両と同様の処置を行ってください。

ニッケル水素バッテリーモジュール電解液は、強アルカリ性（pH13.5）の水酸化カリウム水溶液で、人体に有害です。しかし、電解液は不織布に染み込ませてあるため、万一ニッケル水素バッテリーモジュールが破損した場合でも、通常は駆動用電池（HV バッテリー）ケースから流出したり漏れたりすることはありません。

■ 保護具の着用

保護メガネ（眼球保護用メガネ）

ゴム手袋（強アルカリ性電解液処理時に使用できる手袋）

耐アルカリ性のエプロン

安全靴

【注意】：もし電解液に触れた場合は、以下のガイドラインに従ってください。

・ 電解液が付着した場合

電解液が直接皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。

万一、電解液が目に入った場合は、大声で救援を求め、目をこすらずに直ちに大量の水で洗い流し、専門医の診断を受けてください。

・ 電解液を誤飲した場合

無理に吐かせないでください。

負傷者に大量の水を飲ませて電解液を薄めてください。

意識を失っている場合は水を飲ませないでください。

自発的に嘔吐が起こった場合は、負傷者が窒息しないようにしてください。

負傷者を最寄りの救急医療機関へ移送してください。

・ 電解液の蒸気を吸い込んだ場合

負傷者を安全な場所に運び、酸素を吸入させてください。

負傷者を最寄りの救急医療機関へ移送してください

3. 事故車の運搬要領



警告

- 重度の火傷または感電による大けがや死亡といった事態を防ぐために、オレンジ色の高電圧ケーブルや高電圧部品に触れないでください。
- ただし、車両運搬時には、絶縁手袋を着用してサービスプラグを抜いてから運搬を行ってください。(P.5 参照)
- やむを得ず他の高電圧部品や高電圧ケーブルに触れる場合または触れる恐れのあるときは、絶縁手袋を着用してください。

補機バッテリーのマイナス端子が切り離されていることを確認のうえ、車両運搬車で移動してください。

群
！ 触るな！
中 高電圧作業中

高電圧作業中
触るな！

担当

コピーを取り、折って作業中に車両のルーフに標示する。

JB9743

トヨタ ハイブリッド車 レスキュー時の取り扱い

